

# 英文請求項表現解説

完全に明確な名詞修飾技術は請求項では最も重要である

## ■講師：特許翻訳者 小菌井 薫氏

東京工業大学理学部化学科卒業後、化学会社で繊維、プラスチックの開発に従事し、海外技術指導で欧州駐在を経験。その後、ILC 国際語学センターにて特許翻訳講座および PC スキル講座講師に従事。  
知的財産翻訳検定試験委員。

## ■概要

特許翻訳の基礎知識を身につけた方を対象に、請求項、

(1) A method for manufacturing Z, comprising:  
X-ing---; and  
Y-ing.

で、comprising は、離れた「A method」にかかっているといわれていますが、文法的にどう理解するか。コンマがあれば離れた名詞を明確に修飾できるのか。

では、

(2) A device comprising:  
のようにコンマなし請求項はどう理解するか。

(1) (2) の請求項の差は何か。

さらに、

A method for manufacturing Z,

-----

---, the method comprising:

では、なぜ the method があるのか・・・  
このような疑問にお答えします。

## ■対象

特許翻訳についての基礎的な知識をお持ちの方

(特許翻訳講座の基礎編を受講された方もしくはそれと同等レベル)

## ■定員

40名(原則先着順)

【会場】新宿オークタワー会議室 Room2

東京都新宿区西新宿 6-8-1

住友不動産新宿オークタワー 1F

【道順】

東京メトロ丸ノ内線、西新宿駅2番出口を出られましたら左側に東京医大がございます。東京医大を通りすぎまして交番の前を通りぬけると新宿オークシティがございます。会場はロビーフロアからエスカレーターで1Fにおいて右奥にございます。

【開催日時】2013年3月16日(土)

13時15分～16時30分(途中休憩15分)

■テキスト：当日配布

■共催：株式会社知財翻訳研究所

■申込受付：2013年3月11日(月)午後5時まで

※定員になり次第締め切ります。

■受講料：7350円(消費税込み、資料代含む)

※NIPTA 会員は5145円(税込み)

※アメリカ会員は6250円(税込み)

※大学生は5000円(税込み)

(大学生の方は学生証を提示して頂きます)

■申込方法：

下記 FAX または e-mail (seminar@nipita.org 宛) にて、  
件名に『NIPTA 東京セミナー申込』とご明記の上、下記  
必要事項をご記入し、お送り下さい。

<お申込先>

☆FAX:03-5909-1189

☆e-mail: seminar@nipita.org

<必要記入事項>

1:お名前 2:フリガナ 3:お勤め先(または学校名)

4:郵便番号 5:ご住所 6:TEL/FAX 7:e-mail アドレス 8:申込セミナー名

9:ご経験(あれば) 10:ご質問事項

11:当講座をどちらでお知りになりましたか?

のちほど、事務局から参加に関するご案内を致します。

※お申込後、営業日数日以内に事務局から連絡のない場合、恐れ入りますが、お電話にてお問合せ下さい。